TERUMO

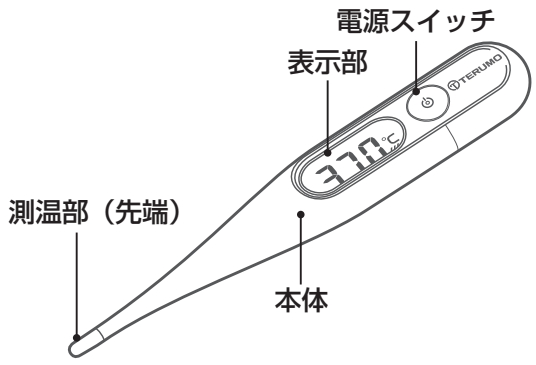
テルモ電子体温計P265　取扱説明書（保証書付）

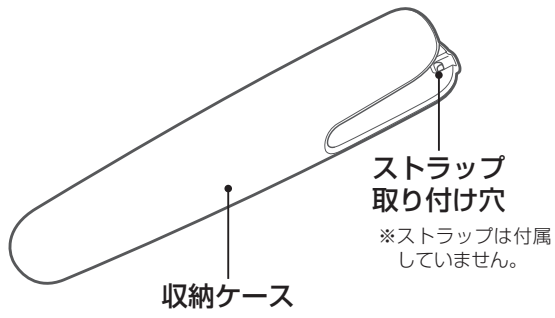
2012年7月

ご使用の前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、「取扱説明書」は必ず保管してください。

注意
- 人の体温測定以外に使用しないでください。
- ワキ下以外で測定しないでください。
- 測定結果の自己診断、治療は行わないでください。

各部の名前

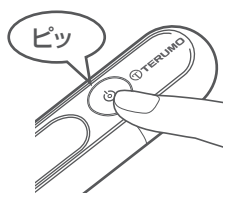




体温の測りかた

1 電源を入れる

体温計を収納ケースから出し、電源スイッチを押します。



正しく測るために
- 測る前に、ワキの下の汗を乾いたタオル等で軽くふき取ってください。

全点灯

表示部が全点灯します。

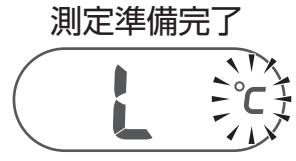
※このとき表示される🔋は電池交換のお知らせではありません。

メモリー

前回の測定値（メモリー）を表示します。

※前回が実測検温の場合は予測マーク「⟪⟫」は表示しません。

測定準備完了



℃が**点滅**したらワキの下にはさみます。

※前回の測定値が無い場合、「L℃」と表示されます。「L」が表示されないときは、測温部（先端）が 32℃以上になっている可能性があります。その場合は、測温部（先端）を水で冷やしてから、再度測定してください。

2 ワキの下にはさむ

ワキの下の**くぼみの中心部**に体温計の先端があたるように、**斜め下方向（30°）**からはさんで、ワキを**しっかり**閉じます。

ワキをしっかり閉じます

正しく測るために

- ワキが開かないようにしてください。
  ひじを曲げて腕を体に密着させると、ワキが開きません。逆の手で腕を軽く押さえると、しっかりはさめます。
  お子様の場合は、腕の外側から優しく押さえてください。
- 体温計が冷えている場合（冬季等）、体温計を周囲温度になじませてから再度測定してください。

3 体温を測定する

予測検温中は、予測マーク「⟪⟫」を表示します。
約60秒で予測検温が終了します。「℃」が点滅から点灯へ変わり、ブザーが**3回**鳴ります。

※予測マークが表示されない場合は、再度測定してください。

予測検温後の表示

42℃より高いとき

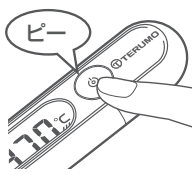
実測検温するとき
- 予測検温の後、**体温計を取り出さず**に検温を続けます。
  検温開始から約３分後に実測検温に切り替わります。
  約10分後にブザーが５回鳴り、実測検温が終了します。

※より正確な体温測定をするときは、実測検温をしてください。

注意 続けて検温する場合は、電源を切り、１分以上放置してからご使用ください。

4 電源を切る

電源スイッチを押して（1 秒以上）電源を切ります。



※先端をきれいにしてから、収納ケースに入れ、しまってください。

- 電源を切り忘れても、約30分後に自動的に電源が切れます。

5 本体を収納ケースに入れる

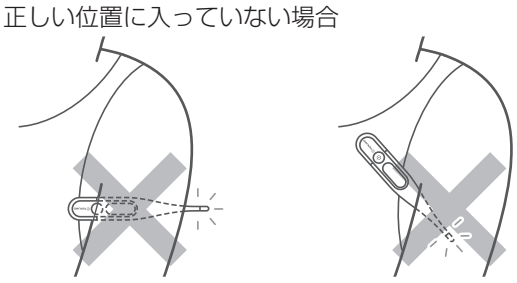
収納ケースのストラップ取り付け穴を下側にし、本体を収納ケースにカチッと音がするまで差し込みます。

本製品の特長

- ●**約60秒**で測れる予測式体温計
- ●防水仕様なので**洗えて清潔**
  （「お手入れ上の注意」を参照）
- ●本体は **ABS樹脂（抗菌剤使用）**を使用
- ●大きな文字で**見やすい**液晶表示
- ●前回の測定値を表示する**“メモリー機能”**

こんなときは正しく測れません

● 正しい位置に入っていない場合



先端が出てしまう。　　ワキの中心から外れてしまう。

※ 表面の「❷ワキの下にはさむ」を参照して、体温計を正しい位置に入れてください。

● ワキの下以外での検温
本製品はワキ専用です。ワキの下以外（口中等）では、使用しないでください。

● 入浴・運動・飲食直後等
入浴、運動、食事、お茶等の後は、体温が上がっています。約 30 分間は検温を避けてください。

● 汗をかいた状態
汗でぬれていると実際よりも低い体温を示すことがあります。汗をかいたままの検温は避けてください。
測る前に、ワキの下の汗を乾いたタオル等で軽くふき取ってください。

● 起床直後
起床直後に動いた場合は、比較的激しく体温が上昇しますので、検温は避けてください。
起床直後に検温する場合は、動き出す前の安静時か、30 分以上経ってから検温してください。

● 検温中に動く
検温中に体温計が動くと正しく測定できません。検温中は安静にしてください。

● 体温計が冷えている場合（冬季等）、体温計を周囲温度になじませてから測定してください。

● 続けて検温する場合は、電源を切り、1 分以上放置してからご使用ください。

品質保証書　このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、通常のご使用において万一故障が発生しましたときは、裏面の保証規定により無償対応いたします。品質保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

販売名：テルモ電子体温計P265

お名前：

ご住所：

TEL：

テルモ株式会社　東京都渋谷区幡ヶ谷２丁目44番１号

お買い上げ販売店名：

印

お買い上げ年月日：

年　月　日

保証規定

（1）保証期間は、お買い上げ後 1 年間です。
（2）ご使用中、故障が発生した場合はテルモ・コールセンターへご連絡ください。
（3）保証期間中に、通常の使用において万一故障が発生したときは、品質保証書を現品にそえて送付していただければ、無償対応いたします。
（4）ただし、以下の場合は保証期間中でも有償になります。
　（イ）ご使用中で取扱いの過誤（落としたり、強いショックを与える）により発生した故障。
　（ロ）正しい状態（使用後は収納ケースに入れる等）でご使用にならなかった場合。
　（ハ）消耗部品（電池）
　（ニ）製品の改造、不当な修理により発生した故障。
　（ホ）火災、地震、水害等天災地変等の不可抗力による故障及び損傷。
　（ヘ）故障の原因が本製品以外に起因する場合。
　（ト）上記以外で弊社の責に帰することのできない原因により発生した故障。
　（チ）品質保証書のご提示がない場合。
　（リ）品質保証書にお買い上げ日、販売店名の記載がない場合（ただし、お買い上げのレシートでも可）、また、字句を書き換えられた場合。
（5）本保証書は日本国内においてのみ有効です。
　This warranty is valid only in Japan.

受付先：テルモ・コールセンター　0120-008-178
送付先：テルモ・サービスセンター
〒 259-0151
神奈川県 足柄上郡 中井町 井ノ口 1500

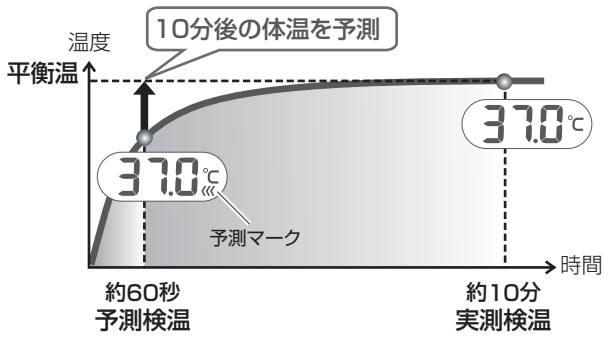
体温計は清潔にして使いましょう

人のワキの下には「皮膚常在菌」という細菌群が住み着いています。この細菌は病気や高齢等で体が弱った人に対し、病気を引き起こすことがあります。
また感染症が流行しているときの体温計は特に要注意です。

体温計の先だけではなく、全体を清潔にしてください。

予測検温のしくみ

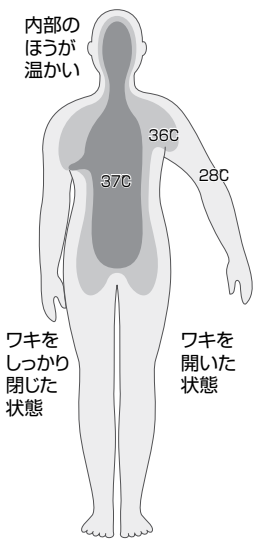
ワキを閉じてから、ワキの下が体の内部と同じくらいの温度**（平衡温）**になるのに約１０分かかります。
本製品は平衡温を**約60秒**で予測します。



「平衡温」とは？

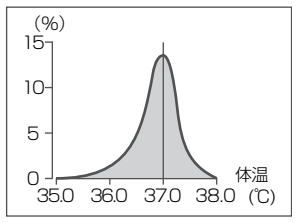
体温を測るとは、体内の温度を測るということです。
外気に接する皮膚表面は、季節や環境等による外気温の影響を受けます。このため体温を測る場合は、外気に影響を受けにくい体内の温度を測る必要があります。
ワキの温度は「体の表面の温度」ですが、しっかり閉じることで体の内部の温度が反映されて温まります。この完全に温まったときの温度を**平衡温（へいこうおん）**といいます。
平衡温に達するには、ワキを閉じてから、10分以上かかります。

●身体の内部の仮想温度分布



37℃は発熱とは限りません

熱を測って 37℃あると、「熱が出た！」と思いがち。ところが、37℃は平熱の範囲内なのです。
正しく測れば、子供からお年寄りまで、健康なときの体温の平均値は 36.89℃± 0.34℃（腋窩：ワキ下検温）。
だから 37.0℃の平熱の人は珍しくありません。平熱は人によって異なるものです。

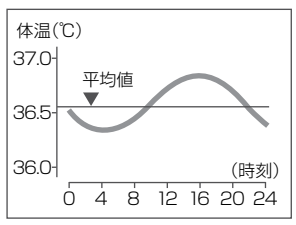


日本人の体温分布

文献）田坂定孝
日新医学　44:633,1957

早寝・早起きは体温のリズムを整える

早寝・早起きをし、朝ごはんをしっかり食べ、午前中と夕方に体を動かす生活習慣で、早朝低く・夕方高くなる正しい体温リズムを刻むことができます。



一日の体温のリズム（例）

さらに詳しい情報は

テルモ体温研究所のホームページをご覧ください。

テルモ体温研究所　検索

http://www.terumo-taion.jp/

テルモ体温研究所　体温から健康に

テルモ体温研究所は体温をキーワードに新しい健康生活を提案していきます。

携帯電話からもご覧になれます。

⚠ この表示の欄は人が傷害を負ったり、物的損害が想定される内容ですので、ご注意ください。

測定ができないときは

故障と疑われる場合には、まず下記の項目について点検をお願いします。それでも正常に作動しないときは、保証規定をお読みの上、修理・サービスをお申しつけください。

こんなとき	点検するところ	直しかた
電源スイッチを押しても何も表示しない	電池が正しく入っていますか？	「電池交換の方法と注意」を参照して、正しく入れ直してください。
	電池が消耗していませんか？	新しい電池に交換してください。
Er.1	• 先端がワキの下からはずれていませんか？ • 測定前に体温計が低温環境に保管されていませんでしたか？ • 測定中の周囲温度が低く、10℃未満ではありませんか？	しばらく時間をおいて、使用環境（10～40℃）にて本取扱説明書の表面の操作方法に従い、再度測定してください。
Er.2	• 測定前の周囲温度が高くありませんか？ • 連続して測定していませんか？ • ℃が点滅する前にワキの下にはさんでいませんか？	先端を水で冷やしてから、本取扱説明書の表面の操作方法に従い、再度測定してください。
Er.3	センサー回路の断線等で計測回路に異常があった場合	テルモ・コールセンターにご相談ください。

電池交換の方法と注意

電池交換の手順

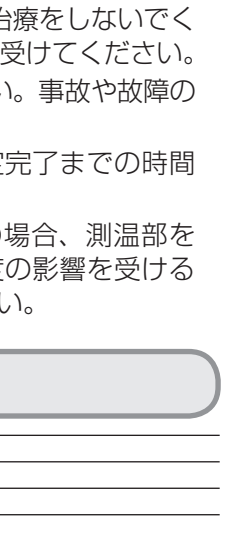
(1) コイン等を電池カバーの溝に入れ、反時計回り（約140°）に回してください。

(2) 電池カバーが上がってきますので、手で取り外してください。

(3) 古い電池を取り外してください。

(4) 電池の⊕側を上にして新しい電池をセットしてください。

(5) 電池カバー側の「▯」印と本体側①の「▯」印を合わせて、カバーを上から押さえながらコイン等で時計回りに、②の「▯」印位置まで回してください。



電池交換の注意

⚠ 電池及び電池カバーはお子様等がけがをしたり、飲み込まないように充分注意してください。

● が**点滅**したら、お早めに交換してください。
が**点灯**すると、検温ができなくなります。

●電池は LR41 です。なお、付属の電池はモニター用（機能確認用）ですので電池寿命が短い場合があります。

●使用済みの電池は、お住まいの自治体で決められた廃棄方法に従って、正しく処分してください。

●長時間使用しない場合、電池は取り外して保管してください。

⚠取扱い上の注意

●体温計を修理・改造・分解しないでください。事故や故障の原因になります。

●先端等を舐めたり、かんだり、先端を持って振ったりしないでください。また、先端で目を突かないように注意してください。事故や故障の原因になります。

●高温や直射日光のあたるところ、湿気の多いところ、ホコリの多いところ等の保管は避けてください。事故や故障の原因になります。

●人の体温測定以外には使用しないでください。故障の原因になります。

●無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

●検温結果から、自分で診断したり治療をしないでください。必ず医師に相談し、指導を受けてください。

●お子様だけで使わせないでください。事故や故障の原因になります。

●低温環境で測定した場合は、測定完了までの時間が長くなる場合があります。

●夏季等で周囲温度が 32℃以上の場合、測温部を水で冷してから測定し、周囲温度の影響を受ける前にすばやく表示をお読みください。

⚠お手入れ上の注意

●先端を消毒する場合には、消毒用アルコールを含ませたガーゼ等で軽くふいてください。また、先端を長時間アルコールに浸漬したり、熱湯（50℃を超えるお湯）で消毒しないでください。故障の原因になります。

●表示部及びその周辺は、消毒用アルコールを含ませたガーゼ等でふかないでください。変色の原因になります。

●ご使用後は必ず清潔にして（水分をよくふき取って）付属の収納ケースに保管してください。

●汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませた布をよく絞ってからふき取ってください。シンナーやベンジン、アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩、クロルヘキシジングルコン酸塩、次亜塩素酸ナトリウム等は絶対に使わないでください。変色、変質、変形や故障の原因になります。

●イソプロパノールやエタノールに長時間（およそ 30 分以上）浸漬させた場合、体温計が変形する可能性があります。

●超音波洗浄はしないでください。故障の原因になります。

●水洗いを行う場合は、洗面器等に貯めた水に体温計を浸してから、汚れをふき取るようにしてください。本製品は、JIS T 1140:2005 に準じた防浸規格に適合しておりますが、本規格では流水等の高い水圧や、長時間の浸漬については保証しておりません。

本製品の仕様

販売名	テルモ電子体温計 P265
型式	P265
測温方式	予測式 (予測検温・実測検温兼用)
温度検出	サーミスタ
検温部位	腋下
温度範囲	32.0～42.0℃
検温時間	予測検温時間：約 60 秒（電子音で告知） 約 3 分後実測表示に自動切替 実測検温時間：約 10 分（電子音で告知）
温度精度	最大許容誤差 ± 0.1℃（恒温水槽で実測測定した場合）
表示方式	液晶表示素子による体温値 3 桁デジタル表示
電源電圧	DC1.5V(LR41×1個)
消費電力	約 1.5mW
分類	内部電源機器・B形装着部
使用回数	予測検温：約 2500 回　実測検温：約 800 回
使用条件	周囲温度 10～40℃　相対湿度 30～85% RH
保管条件	周囲温度－ 20～60℃　相対湿度 95% RH
外観寸法	長さ126mm ×幅約 20mm ×厚さ12.5mm
質量	約 15g（電池含む）
付属品	収納ケース、モニター用電池（内蔵）、取扱説明書（保証書付）、添付文書／ EMC 技術資料
EMC 適合	本製品は EMC 規格 IEC60601-1-2：2001 に適合しています。 CISRPR グループ分類：グループ1 クラス分類：クラスB

※ 本製品の仕様は、改良のために予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
※ 本製品、及び使用済みの電池は、お住まいの自治体で決められた廃棄方法に従って、正しく処分してください。
※ 取扱説明書に記載した以外の使用方法及び製造者以外によって行われた修理、改造、再調整等について、当社はその責任を負いません。

ご相談・お問い合わせ先

この商品に関するご相談やお問い合わせは、販売名をご確認の上、お買い上げの販売店又は「テルモ・コールセンター」にご連絡ください。

テルモホームページアドレス　http://www.terumo.co.jp/

テルモ・コールセンター
0120-008-178
(9:00～17:00 土･日･祝日を除く)

この体温計の販売名は **テルモ電子体温計P265** です。

管理医療機器
一般的名称：電子体温計
発売元：テルモ株式会社　東京都渋谷区幡ヶ谷２丁目 44 番１号
製造販売元：シチズン・システムズ株式会社　東京都西東京市田無町 6-1-12
医療機器認証番号：000XXXXX00000000

TM、TERUMO、テルモはテルモ株式会社の登録商標です。

©テルモ株式会社　2012年7月